

令和3年9月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

特 記 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,448	182,929	183,000	182,838	△ 71	91
2 調定水量	m	673,476	3,944,187	3,919,900	3,953,843	24,287	△ 9,656
3 調定料金(税抜)	円	179,266,886	1,053,962,224	1,052,000,000	1,058,873,619	1,962,224	△ 4,911,395
4 口振加入件数	件	25,129	150,826	—	150,772	—	54

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,609	111,534	109,920	109,838	1,614	1,696
6 調定水量	m	410,713	2,388,297	2,324,800	2,370,917	63,497	17,380
7 調定料金(税抜)	円	64,636,631	377,169,540	366,240,000	373,828,825	10,929,540	3,340,715

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,620	—	77,429	△ 809
9 給水件数	件	30,265	—	30,290	△ 25
10 開栓処理件数	件	170	1,576	1,582	△ 6
11 閉栓処理件数	件	242	1,494	1,441	53
12 給水工事設計審査	件	52	270	412	△ 142
13 給水工事竣工検査	件	64	344	449	△ 105
14 経年メーター交換	件	380	1,842	2,841	△ 999
15 メーター口径変更	件	5	38	27	11
16 督促状発送数	件	1,212	7,934	7,919	15
17 月末停止件数	件	84	—	108	△ 24

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	32	203	192	11
19 排水設備工事完了検査	件	33	163	180	△ 17

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	207,052,762円	82.15%	217,665,302円	81.31%
21 過年度分	4,297,200円	97.78%	4,798,302円	97.48%
22 計	211,349,962円	-	222,463,604円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	86,714,467円	74.78%	84,293,824円	75.07%
24 過年度分	850,830円	98.93%	1,083,264円	98.59%
25 計	87,565,297円	-	85,377,088円	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	6,683,670円	80.92%	10,860,730円	72.73%
27 過年度分	2,401,300円	10.03%	3,664,230円	10.76%
28 計	9,084,970円	-	14,524,960円	-

1. 9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の水道料金は197,150千円(税込)で、前月期に比べて1,223千円の増、対前年同月比では9,379千円の減となり、営業収益は197,820千円、営業外収益は事務手数料など5,104千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など83,876千円、営業外費用は、企業債利息として55,263千円、特別損失は40千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金、加入金及び前年度からの繰越工事に伴う移設補償金を科目更正5,997千円を行ったため△11,447万円の執行となりました。支出は、職員給与費などを含む事務費や調査設計費及び企業債償還金として249,979千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は71,100千円(税込)で、前月期に比べて1,064千円の増、対前年同月比では2,069千円の減となっています。営業収益は70,996千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など71,207千円、営業外費用は企業債利息152,535千円執行しました。

イ 資本的収支

支出は、工事請負費や災害復旧費などの建設改良費15,672千円及び企業債償還金として734,989千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会9月定期議会の開催について

9月3日(金)に令和3年登米市議会定例会9月定期議会が開会し、上下水道部では、「令和2年度登米市水道事業会計決算認定について」及び「令和2年度登米市下水道事業会計決算認定について」の2件を提案しました。

決算審査特別委員会において認定され、その後の本会議(9月28日)でも認定されました。

(2) 総務企画常任委員会について

9月8日(水)及び10日(金)に総務企画常任委員会が開催されました。8日の委員会では令和2年度に放棄した債権について説明を行いました。

債権放棄は生活困窮や行方不明に伴う82件、326,721円を放棄しました。

10日には令和2年度水道事業決算認定及び下水道事業決算認定などについて説明を行いました。

令和2年度水道事業決算においては、水道事業経営戦略に基づき老朽化した基幹配水管の更新の実施や、今後の人口減少や老朽化に対応するため、施設のダウンサイジングや統廃合を定める施設統廃合計画の策定に着手している旨の説明を行いました。また、経営成績は、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化や、石越町駅前地区の一部を給水区域に編入したなどにより、給水収益が前年度から2,886万円増加し、当年度純利益は3,320万円となったものの、今後の経営環境は厳しさを増すと予測していると報告しました。

令和2年度下水道事業決算は、本年度より地方公営企業法を適用し、下水道事業特別会計から下水道事業会計に移行した。これまで水道事業で培ってきた公営企業会計のノウハウを活かすことができ、円滑な事業運営に繋がっていると説明を行いました。経営成績は、下水使用料収入が、水道事業と同様に新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化などによって、予算額より2,817万円増加したが、地方公営企業会計適用による退職給付引当金等を繰出したことにより、当年度純損失が6,594万円となりました。

令和3年9月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	820,507	5,025,109	4,787,930	4,974,951	237,179	50,158
総配水量	760,143	4,687,826	4,458,050	4,619,054	229,776	68,772
1 有効水量	719,934	4,219,271	4,224,300	4,332,702	△ 5,029	△ 113,431
(1) 有収水量	677,914	3,970,789	3,944,400	3,983,489	26,389	△ 12,700
(2) 無収水量	42,020	248,482	279,900	349,213	△ 31,418	△ 100,731
2 無効水量	40,209	468,556	233,750	286,352	234,806	182,204
(1) 漏水量	39,375	465,945	230,000	285,362	235,945	180,583
(2) その他無効水量	834	2,611	3,750	990	△ 1,139	1,621
3 有収率	89.18%	84.70%	88.48%	86.24%	-3.78%	-1.54%

※ 当月期の最大配水量は、21日（火）に記録した【26,273m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	0	0	0	0	20,460	0.0%
浄水施設整備事業	6	57,420	1	5,346	0	0	52,074	9.3%
配給水施設整備事業	54	1,163,640	13	535,473	1	31,936	596,231	48.8%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 大巻取水場樋管清掃を実施

9月15日（水）石越浄水場大巻取水場（石越）への取水樋管（堤防を貫通して設置した暗渠）内と接合井（河川敷に設置したピット）に堆積した土砂の除去作業を実施しました。

この作業は河川に堆積した土砂が樋管に流入し取水の障害となることを未然に防止し、安定した取水を図ることと施設の点検を目的として行うものです。

作業は年2回実施します。



【樋管清掃の様子】

2 給水車操作訓練を実施

9月30日（木）災害訓練として「給水車操作訓練」を実施しました。

これは、災害や応援給水等の際に、職員の誰もが迅速に操作対応できることを目的として行いました。

参加者は給水バルブの確認、実際に給水車への補水操作や加圧ポンプの操作を体験しました。

今後も万が一の災害等に備え、訓練に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	33	48.541
	付属施設	0	0.000
	給水装置	49	38.556
	計	82	87.097

【漏水調査結果：9月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約574,861円/日当たり
算定：R2年度給水原価 275.01円
累計漏水量 87.097m³/h
87.097m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	258,453	1,647,059	1,623,405	23,654		1処理場
特定環境保全公共下水道	53,971	335,712	339,235	△ 3,523		3処理場
米谷・錦織処理区	11,479	72,193	76,872	△ 4,679		
豊里処理区	30,929	189,207	185,010	4,197		
津山処理区	11,563	74,312	77,353	△ 3,041		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	13,685	79,301	80,144	△ 843		
農業集落排水	107,278	691,324	720,734	△ 29,410		24処理場
迫地区	10,228	60,699	56,934	3,765		
東和地区	2,688	19,165	18,444	721		
中田地区	26,355	177,582	192,378	△ 14,796		
豊里地区	1,952	12,265	12,886	△ 621		
米山地区	45,907	300,397	318,378	△ 17,981		
南方地区	20,148	121,216	121,714	△ 498		R3.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	43,910	254,267	245,256	9,011		1,934基
合計	477,297	3,007,663	3,008,774	△ 1,111		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	554,183	4	110,065	0	11,592	432,526	22.0%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	1	15,950	0	0	440	97.3%
処理施設整備事業	88	414,549	39	88,180	18	33,254	293,115	29.3%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

特記事項

1 下水管渠の閉塞物撤去作業の実施

石越町東郷地内において、下水管渠の閉塞が確認されたことから、緊急の撤去作業を実施しました。原因は、下水管渠内に多くの油分が付着し下水の流れを阻害したことによるものでした。

快適に下水道を利用してもらうために、市民の皆様へ下水道の適正使用についてのお願いを、はつとFMなどを通して周知していきます。



【下水管渠の閉塞対応の状況】

2 汚水管渠築造工事の完了

9月期、迫町平柳地区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法による管路（施工延長L=315.9m）、1号マンホール（7基）及び小型マンホール（4基）の整備を行ったものです。



【マンホール設置状況】

○ 浄化槽整備事業受付状況 （9月末現在）

予定件数	受付件数	残件数
80	75	5